

広報広聴関係について

各種事業名	概要	開催場所	対象者	内容	教育委員会関係件数 (12月定例教育委員会 会議以降新たに市の ホームページに公開さ れたもの)
ドンドン語ろう!	市長が各区に出向き、まちづくりについて直接市民と対話する。	各区公民館ホール等	各区内にお住まいの方、勤務されている方	まちづくりについて〔市長〕意見交換(市長、出席者) (平成27年度開始)	0
市民の声	市民からのまちづくりについての意見や提案を市政に反映させる。	/	どなたでも	市民が、市民センターなどに置いてある緑の封筒で意見や提案を送る。	6
				市長への手紙の電子メール版。市民がファクスや電子メールにより意見や提案を送る。	

各種事業名	開催日・受付日	提案・要望内容	回答内容（市長回答）
市民の声	1 H28 7月	<p><b>市立小学校の熱中症対策について</b></p> <p>先日、子供の授業参観で中央区の小学校に行った。空調がないとは聞いていたが、教室のあまりの暑さに唖然とした。</p> <p>毎日、顔を真っ赤にしなが、こんな環境で勉強している子ども達がかわいそうである。空調がある学校で学んでいる子供とない学校では学習効果に差が出ると思う。</p> <p>職員室は、空調が入っていると聞く。教室に入れないなら、職員室も空調を切してほしい。税金でまかなっているのに、学校によって差があるなんて不公平である。熱中症で児童が亡くなったり、事件が起こらないと動かないのだろうか。早急に全教室に空調を導入するよう求める。</p> <p>今年度（平成28年度）は、予算や工期的に間に合わないと思うので、空調に代わる熱中症対策(氷を教室付近に置く、扇風機の増設など)の導入を求める。</p> <p>また、水筒の持参も遠くに住んでいる児童だけ許可制のようだが、距離に関係なく全員、水筒の持参を許可するよう強く要望する。子供が熱中症で何かあったら責任が取れるのか。早急な対応をお願いします。</p>	<p><b>【健康教育課回答】</b></p> <p>今年度も暑さが厳しく、熱中症が心配されるところです。熱中症の対策については、水分補給や屋外での帽子着用、こまめな休養をとるなどの対応を教育委員会から通知し、各学校で適切な対応に取り組んでいるところです。</p> <p>児童の水筒持参につきましては、各学校の判断に基づいて実施しているところですが、ご指摘の小学校で通学距離によって水筒持参を制限している事実はなく、同校では、昨今の気象状況等を考慮し、保護者の皆様へ児童の水筒持参に関するお知らせを行うこととしたところです。</p> <p>また、同校では、休み時間の給水だけでなく、授業中の水分補給についても個別に対応しています。さらに、暑さが厳しくなった7月からは、授業時間中の一斉給水タイムを設けるなどして、熱中症対策を行っているところです。</p> <p>なお、保健室等に熱中症対応のためのイオン飲料や首等に巻く保冷剤を準備するなど、児童生徒の状況に応じた対応を行っておりますので、いつでもご相談ください。</p> <p><b>【施設課回答】</b></p> <p>小中学校のエアコン設置につきましては、子供たちが学習に集中できるような環境整備を推進するため、順次、全校の普通教室にエアコンを設置することにしています。</p> <p>しかしながら、全校一斉に設置することは困難でありますことから、平成27年度には中学校の設計を終了し、平成28年度には設置工事を実施する予定でございました。</p> <p>また、小学校については平成28年度に設計を実施し、その後、順次全小学校の普通教室への導入を進めていく計画で進めてきたところです。</p> <p>そのような中、今回、熊本市で発生した地震により、学校施設が甚大な被害を受け、現在、その復旧作業を優先に進めている状況であり、エアコンの設置につきましては、復旧作業の進捗状況と国の補正予算の動向を見極めながら検討している状況でございます。</p> <p>教室の環境が児童生徒にとって好ましくないことは十分に認識しておりますことから、エアコンの設置に向けて努力してまいりますので、どうかご理解いただきますようお願いいたします。</p>
	2 H28 7月	<p><b>南区の児童育成クラブのクーラー設置について</b></p> <p>平成28年4月から、放課後児童育成クラブの開設となり本当にお世話になった。</p> <p>しかし、この夏休み期間にクーラーの設置ができない可能性があるとの聞き、保護者間で熱中症を懸念している。</p> <p>震災等もあり多忙とは思いますが、子どもたちの安全な夏休みを保障して頂けるよう要望する。少人数の学校ではあるが、地域をあげて開設となった大切なクラブであり、どうか検討をお願いします。</p>	<p>ご意見をいただきましたクーラー設置につきましては、今回の震災の影響を受け、着工にかなりの時間を要するところです。</p> <p>つきましては、別途、クーラーの設置してある学校施設の利用等について、学校と協議を進めております。</p> <p>一刻も早い子ども達の生活環境確保に努めてまいります。ご理解・ご協力の程よろしくお願いたします。</p>

各種事業名	開催日・受付日	提案・要望内容	回答内容（市長回答）
	3 H28 7月	<p><b>南区の児童育成クラブにおける指導員数について</b></p> <p>南区のある校区の児童育成クラブは、児童数に対し指導員の数が不足している。 特に夏休みは70人位の児童数に対し指導員は5から6名で、うち児童の2人は障がいを抱えている児童でその対応を行う必要がある。 障がいのある児童には、必ず1人専任でつくことになっているはず。 何かあったらでは遅いので、きちんと実態を調査、把握し、適正な運営ができるようお願いする。</p>	<p>現在、育成クラブ指導員の配置につきましては、児童数に応じた配置を行っており、特に配慮を要する児童に関しましては、加配指導員の配置を行っております。</p> <p>ただし、加配指導員の人数につきましては、児童1人に対し必ず専任の指導員1人を配置するというのではなく、当課の巡回指導員によるクラブ訪問とクラブからの加配申請により状況を把握し、それぞれの状況に応じた指導員を増員しているところであります。</p> <p>ご指摘のクラブにつきましては、8月から指導員を増員し対応する予定としております。</p> <p>なお、今後も引き続き、ホームページやハローワーク等で指導員募集の周知を行うなど取り組んでいきたいと考えておりますので、ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。</p>
市民の声	4 H28 7月	<p><b>児童育成クラブの開設時間について</b></p> <p>南区の市立小学校に通う三年生の父親であり、父子家庭で父子二人暮らしをしており、放課後は育成クラブにてお世話になっている。</p> <p>現在は育成クラブの利用が三年生までとなっているが、家庭の状況によっては、四年生以降も、せめて春休みや夏休み、冬休み等の長期休暇の間だけでも育成クラブを利用できる制度にしてほしい。</p> <p>長期休暇の間、毎日早朝から夜まで、幼く寂しがりやの子ども1人で家に留守番させるのは、本人にとって不安であり苦痛でもある。また、子どもを毎日一日中一人で家に居させることには何かと心配事が多く、胸が押しつぶされる思いである。</p> <p>近年は、昔に比べて不審者や異常な犯罪などもより多くなっており、子どもたちが犯罪に巻き込まれる事件なども毎日のように目や耳にするので特に心配が絶えない。今回の震災で、子どもの心もより不安定になっており、私自身も心配が募るばかりである。</p> <p>私事ではあるが、父子二人暮らしの父子家庭で、また、私自身の実の両親も他界しており、学校が長期休暇の間、子どもを安心して預ける事ができる拠り所がないのである。民間の預け先も探したが、時間帯が合わず、通うすべもなく、また、その費用もかなり高額なもので、とても利用することができない。</p> <p>私たちだけでなく、他にもこういった状況の家庭もあることを市長に理解していただき、また、臆病な幼い子どもが早朝から夜まで一人で泣きながら不安な気持ちのまま家で寂しく留守番している姿を市長にも想像していただき、この切実な状況をより理解いただければ幸いである。</p> <p>私の同僚に母子家庭の方がおり、益城町に在住しているが、そちらの小学校ではすでに以前から高学年まで長期休暇中は育成クラブの利用ができており、本当に助かったといていた。共働きでも両親が揃っているか祖父母が預かれる状況にある家庭はなんとか都合をつけているが、私どものような家庭にとっては、本当に切実な問題である。</p> <p>本心は平日でもお願いしたいところであるが、そこまで迷惑をかけるのは申し訳ないので、通常時は放課後帰宅して、一人で数時間の留守番を頑張ってもらわなくてはならないと思っている。</p> <p>（つづく）</p>	<p>本市の運営する児童育成クラブでは、定員を設けず小学校1年生から3年生まで（障がいのある児童は6年生まで）の入会要件を満たすすべての児童の受入れを行っております。このような状況から、狭隘な施設も散見されるところです。施設整備や学校施設の活用等にて狭隘なところから順次改善を行っていますが、現在のところ施設に余裕のあるクラブを除き、4年生以上の受入れ拡大は困難であり、また、入会児童数に対する職員配置についても十分な確保ができない状況です。</p> <p>このような状況を鑑み、熊本市では全ての児童の安全・安心な居場所づくりの観点から放課後子ども総合プラン運営推進委員会を設置し、総合的な放課後児童対策について議論を始めたところ です。</p> <p>なお、現状としましては、夏休み等の長期休業期間においては、本市15ヶ所の児童館・児童室において、月曜日や年末年始の休館日を除き、午前9時から午後5時まで開館しておりますので、幸田児童館等近くの児童館のご利用についてもご検討いただけたらと存じます。</p>

各種事業名	開催日・受付日	提案・要望内容	回答内容（市長回答）
市民の声	4 H28 7月	<p><b>（つづき）</b> 子どももすでに三年生で、来年まで時間もなく、またこのような問題を抱えているのは私だけでなく、また何かが起こってからでは間に合わないという思いから失礼ながら意見した。 子どもたちの安心・安全な生活、成長を守るために、どうか早急に検討いただきたい。</p>	
	5 H28 7月	<p><b>複式学級について</b></p> <p>中緑小学校は現在、児童数が44人である。中緑小学校と銭塘小学校と川口小学校と奥古閑小学校4校集まって天明中学校に行く。 中学生になったら一緒になるのだから、早くから一緒に勉強し、友情を深めてほしいと思う。親としては、中学校でどんな子で誰かわからない子と遊ばれるよりは、9年間一緒にどここの校区の子かわかった方が安心する。3年間では、親同士も仲良くなれないし、子ども達も9年一緒にのほうが築き上げられるものが違うと思う。 もちろん、人数が少ない小学校には、それはそれでいいところたくさんあると思う。 しかし3年間より絶対9年間一緒にのほうがいい問題や、人間関係、コミュニケーション力、競争精神、その他たくさんの方に優れてくれるかと思う。</p>	<p>子どもの減少による学校の小規模化が全国的な課題となっており、本市においても、児童生徒数が減少傾向にある中に、一部の地域では住宅開発による人口の流入により、学校が大規模化している一方で、農業振興地域や山間部等の地域では、学校の小規模化が進み複式学級がある学校もあります。 このような中、本市では、平成26年6月に、学校の規模と配置のあり方の基本的な考え方を整理し、適正化に向けた具体的な方策等を示した「熊本市学校規模適正化基本方針」を策定し、子どもたちにとって良好な教育環境の整備に取り組んでいます。 ご案内の中緑小学校におきましては、複式学級のある過小規模校として学校規模適正化の対象としており、地域住民の代表者やPTAの方々へ、当校の今後の児童数の推計をお示しするとともに、学校規模による教育上のメリットやデメリット等について説明をしながら、ご意見をいただいているところであります。 学校規模適正化を進めるには、学校が地域のシンボルであるとともに、まちづくりの拠点施設であることから、地域住民や保護者の方々の理解と協力を得ることが必要であり、今後も適時説明会等を行いながら、地域、保護者の方々の意見、要望を踏まえ進めてまいりたいと考えております。 今後とも、ご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。</p>
	6 H28 4月	<p><b>音楽について</b></p> <p>私は熊本市立中学校の1年生だ。小学校で金管バンド部に入っていた。そこでマーチングを学び、全国大会にまで出場できた。 音楽は、自分も相手も心をつなぐ第一歩だと思っている。 合唱でも吹奏楽でも何でも良い。楽器が吹ける人、合唱が好きな人を募集したりして、ひとつのバンドをつくり、人々が「聞いてよかった」「私もバンドに入ってみたい」などと思わせるような演奏をして、熊本の方々優しい気持ちになったら、熊本はとてもよい市になると思う。 楽器の無い学校もある。ぜひ、そのような学校に楽器を買ってほしい。</p>	<p>小学校時代に金管バンドの演奏を通して経験されたように、音楽は、人と人の心をつなげることができる不思議な力を持っています。音楽を聴いたり、演奏したりすることで、元気や勇気をもったり、心が豊かになるなど音楽は素晴らしいものです。 学校によっては、楽器がなかったり、あっても種類が少なかったり、状況は様々だと思いますが、各学校では、限られた予算の中で、授業で使うものや多くの生徒が利用するものなど、学校に必要な物品の優先順位を検討し、順番に購入しています。 「熊本市を良くしたい」という気持ちは同じです。音楽の素晴らしさを、是非、今後の熊本市の発展のために取り入れていこうと思います。そして、音楽の力で熊本市を今以上に、心と心がつながる豊かな街にしていこうと思います。 最後になりますが、これからも、いろいろなジャンルの音楽をたくさん聴いたり演奏したりする事を通して、心豊かな中学生になれることを期待します。</p>